

## ◆ 中央都税事務所長賞 ◆

「税を納めるということ」

中央区立銀座中学校 3年 角田 美優

私は小さいとき、「百円のものを買ったら百八円になるのはなぜだろう」と不思議に思っていました。税金について知らなかった私は、その八円の重要さを知りませんでした。

しかし、だんだん税金について学ぶ機会が増え、「税金は大切なものなんだ」と知りました。少し自分のまわりを見渡すと、税金がたくさん使われていることに気が付きました。当たり前のように過ごしている毎日は、私たち国民が納めている税金があるからこそ成り立っているのです。その一つとして、私たちが普段通っている学校です。学校で使っている教科書や机、イス、授業で使う道具など、みんな税金によってあるものです。また、子どもから大人まで多くの人が利用する公園や施設にも税金は使われています。

もし、税金がなくなってしまうたら、私たちの生活はどのようなになってしまうのでしょうか。税金がないと、公共サービスがなくなってしまうます。たとえば、今は救急車を呼んだら無料で乗って病院に運んでもらえますが、一回の利用につき料金を払う必要があります。病院で支払う治療費も今よりとても高くなり、家庭から出るゴミもお金を払わないとゴミ処理場に持って行ってくれなくなります。交番の警察官に道を聞くのも有料で、毎日通る道路の信号もついていないし、道もボロボロです。交通事故にあったり、地震や台風の被害にあったりしても、助けてもらうサービスはすべて有料になってしまうかもしれません。このような当たり前が税金のおかげで守られていると考えると、税金を納めることはとても大切なことだと思います。

また、私たちがこうして当たり前前に勉強し、整備された町で生活できていることは、この日本でたくさんの人たちが働き、税を納めてくれているからです。

とはいえ、大人になってから納める税金の額はとても多いものだと思います。ニュースなどで「脱税」という言葉を時々聞くこともあります。しかし、税により私たちの生活が豊かなものになっているなら、全員が税金の大切さをもっと理解すべきだと思います。

そのためにも、国は住みやすく豊かな社会にするために、国民によって納められる税を正しく使うことがなによりも大切だと思います。そして、国民は納税の義務と同じように、税の使い道に関心を持つ必要があると思います。私自身も税金について関心を持つと思いました。

私は、全員で自分たちの生活を支え合うという考えが大切だと思います。みんなで協力し合い、よりよい日本になっていったらと思います。